

令和6年9月25日



風は湊から

文責 校長 永田 泰志

行事が生徒を成長させる！

2学期も一か月が過ぎました。まだまだ日中は暑い日が続いていますが、頭の上から聞こえていたセミの音が、足元からの虫の声に変わりました。朝夕は気温の差を感じられるようになり秋の訪れを感じています。生徒たちは学校行事や日々の生活を通じて、少しずつ成長している姿が垣間見られます。



さて、2学期はキャリア教育の一環として、2年生は9月5・6日に職場体験学習を行いました。ここ数年は、コロナの影響で生徒を受け入れて頂ける事業所がなかったのですが、今年は7つの事業所にご協力をいただき、1日目は全員が波戸岬少年自然の家において、また2日目は6カ所の事業所に分かれて実際に仕事を体験することができました。この二日間を通して、体験を終えた表情からも、2年生全員が働くことの大変さや面白さに気づくことができたようでした。

また、9月19日には生徒たちの主体的に進路を選択する態度を育むために、看護師や美容師の方を講師として学校にお招きし、1年生を対象に職業講話を行いました。子どもたちが講師の方々の話を聞く態度は真剣で、これからの学習意欲につながってくれればと期待しています。

9月11日から3年生は鹿児島・熊本方面へ二泊三日の修学旅行、1、2年生は、9月11日に東の浜周辺でサップ体験や安全講習等、校外学習を行いました。参加した生徒たちの表情から、中学校時代の大きな思い出の一つになったことは間違いありません。私も3年生と行動を共にする中で、生徒たちが感謝・自立・挑戦する姿をたくさん見ることができ、嬉しく思いました。



教育目標（令和5年度制定）

感謝・自立・挑戦

今後の行事予定

9月

- 27日(金)湊地区クリーンアップ
創作活動(1, 2年生)
- 28日(土)唐津地区中体連駅伝大会
- 30日(月)創作活動(3年生)
生活アンケート

10月

- 1日(火)生徒会各部会
- 2日(水)全校朝会(生徒会)
市内一斉部活動停止日
- 3日(木)生徒会長及び生徒会役員選挙
特別掃除
- 4日(金)文化発表会準備期間(~18日)
- 11日(金)2024国スポ観戦
前期通知表渡し
- 14日(月)祝 スポーツの日
- 15日(火)3年生第2回 SAGA テスト(~16日)
- 17日(木)振替休日(19日(土)分)
- 18日(金)文化発表会準備
- 19日(土)第78回文化発表会
ものづくり体験教室
- 20日(日)県内一斉部活動休養日
- 22日(火)みなとタイム数学(2, 3年生)
- 23日(水)みなとタイム数学(3年生)
- 24日(木)特別掃除
- 25日(金)学校訪問
湊中学校公開授業
- 27日(日)湊神祭
- 28日(月)教育相談(~11/1日)
- 29日(火)生活アンケート
防犯教室
- 30日(水)全校朝会(生徒会認証式)
「ふるさと先生」講座



※各学級から配布される学級通信等もご確認ください。

応援をお願いします！

○唐津地区中体連駅伝競走大会

9月28日(土) 浜玉ひれふりコース

女子スタート10時00分 男子スタート11時30分

○唐津地区中体連新人大会

・ソフトテニス競技(団体戦)

10月6日(日) 松浦河畔庭球場

・バレーボール競技

10月12日(土)・13日(日) 相知中学校体育館

頑張っています、湊中生。

○唐津地区七夕書き方会

(硬筆) 入選 3年 田畠 友香さん

3年 森 菜々美さん

2年 伊藤 沙夏さん

2年 笹山 舞さん

2年 八並 光宙さん

1年 伊藤 花愛さん

(毛筆) 特選 3年 新 紗苗さん

3年 笹山明香里さん

1年 北後 有梨さん

1年 戸川 遙菜さん

○唐津地区中学生卓球新人大会

・団体戦、個人戦で力を発揮しました！



メタ認知で成績アップ！

授業中あるいは家庭学習で、子どもたちはどのような工夫をしながら学んでいるのでしょうか。「頑張っているのに、成績が上がらないなあ」と感じている生徒もいるのではないのでしょうか。それは、勉強の仕方が自分に合っていないのかもしれない



ん。成績アップには、「授業への集中」と「計画的な勉強」がポイントです。

さらに、今回は新たな工夫として「メタ認知」を提案したいと思います。

「メタ認知」の「メタ」には、より次元が高いという意味があり、「メタ認知」とは、自分の行動、考え方、性格等を別の立場から見て認識する、というこ

とです。つまり、自分を客観視して、自分が何を知っていて、どれだけ理解しているかなどについて、自分自身が認識することです。

よく教師が、「分からないところがあったら、質問してください。」と言っても、誰も質問しない。「○○さん、どこが分からないの？」と尋ねると、「全部！」と答える生徒がいます。一見、不真面目な状況に見えますが、決してそんなことはないんです。そう、「分かっているところが分からない」、言い換えると、「分からないところが分からない」のです。だから全部分からないし、質問もできません。

勉強って何だろうと考えると、それは分からないところを分かるように学ぶことです。ということは、分からないところが分からないと勉強にならないことになります。分からないところを無視して、分かるところだけ繰り返し練習しても、あまり成績は上がりません。

では、どうすればうまくできるでしょうか。一番良い方法は、「今学んだことを、自分の言葉でうまく説明できる」ようにすることです。授業の直後は「分かったつもり」の段階。説明できて、つまりアウトプットできて初めて「認知」となるのです。授業の振り返りの時間で、『今日の要旨を友だちに分かるように説明できるくらいしっかり理解するぞ』という気持ちで授業に臨むことが大切になります。そうすると、授業への姿勢も変わります。とくに、英語、数学等の積み上げ教科は、一度分からなくなると、その後の理解が難しくなります。

数学の例を挙げます。

本時の課題が1年生で学習する「加法と減法が



混じった式」であれば、時間の最後に「まずは加法だけの式に直す。その後は、交換法則や結合法則を使うと、計算しやすくなる」と自分の言葉で学んだことを整理して、友だちに説明するつもりで問題を解いてみるとよいでしょう。では、乗法と除法の混じった式だとどうでしょう？・・・そう、「除法を乗法に直して計算する。その後は、交換法則や結合法則を使って計算する。さらに、分数の除法の場合は逆数にして乗法にする」となります。

メタ認知を実際にやろうとすると意外と大変かもしれませんが、ぜひ積極的に挑戦して、勉強の仕方を工夫してほしいと思います。